射水市スポーツ推進審議会会議録

1 会 議

期 日：令和7年8月6日（水）13：30～14：30

場 所：射水市役所会議室306

出席者：

- （委 員） 六渡副会長、片岡委員、金井委員、三箇委員、島倉委員、清水委員
- （事務局） 作道教育委員会事務局長、
星野教育委員会事務局次長（生涯学習・スポーツ課長）
中林副主幹（学校教育課学校教育係）
明神係長、野上主任、放生主事（生涯学習・スポーツ課スポーツ推進係）

2 概 要

- ・開会のあいさつ（作道事務局長）
- ・委員と事務局の紹介
- ・議事進行（六渡副会長）
- ・閉会

・報告事項

（1）第2次射水市スポーツ推進計画について（令和7年度主要事業）

【委員からの意見等】

（委員）

スポーツ大会出場激励金について、昨今の物価高騰に伴い、金額の変更はしているか。

（事務局）

金額の変更はしていない。

（委員）

物価上昇により、増額を希望する声が多いので検討してほしい。

（事務局）

他市町村の状況も調査し、検討していく。

（委員）

体力測定会では何人のデータを得たのか、またそれらをどのような形で文科省に報告しているのか。

（事務局）

約200名である。求められているデータは成人以上のものであるため、成人未満のデータを除いたものを報告している。

（委員）

ウォーキングイベントの開催は毎年開催しているのか。

(事務局)

毎年開催している。昨年は下地区で開催した。

(委員)

最近研修や出前講座等でモルックをする機会が多い。市として大きな大会の開催を考えているか。

(事務局)

全国大会等の誘致については調査・研究している段階である。

(委員)

新湊地区でテックボールについて耳にすることがあるが、市として何かしていることはあるか。

(事務局)

本市で器具を4台保有し、要望に応じて貸出を行っている。また、市民協働事業の20周年記念事業として8月11日にテックボールの大会が行われる。

(委員)

そのうちの1つが本校にある。生徒が利用しているところを見ると難易度が高くサッカー経験者でも難しいため全体的な広がりとしては苦しい部分があるが、積極的に使っていきたいと思っている。

(委員)

幼稚園・保育園児運動能力向上事業では誰がどのような形で行っているのか。

(事務局)

(株)アスレチッククラブ・エスピーホープの茅野氏が講師として、イベント形式で運動指導を行っている。

(委員)

小学生向けにトップレベルの選手のプレーや姿を見せてあげる事業もあればよいと感じた。

(委員)

モルック等のニュースポーツを学校単位で申込みして体験することは可能か。

(事務局)

可能である。学校の親子活動などでも行っている。

(2) 公共スポーツ施設の見直し状況について

【委員からの意見等】

(委員)

何年も前から2館体制について話がでていますが、最近の動きなど具体的に教えてほしい。

(事務局)

昨年は稼働率や利用者層の調査を行った。全ての体育館が休日や平日の夜を中心に広く利用されている。それを踏まえて現在は、コミュニティセンターなどの他の施設の利

用の可能性を調査し、利用者の振り分けができないか検討している段階である。加えて民間活力の利用についても考えている。一昨年にはサウンディング調査を実施し、民間企業からの提案や意見をいただいているが、資金面での課題もありなかなか進んでいない。現在多くの方に体育館を利用いただいていることから、スポーツ活動の場の確保について整理をしている。新湊総合体育館と小杉総合体育センターに関しては2館体制で維持していくといった現在の方針があるため、大規模改修に向けて今後準備を進める。大規模改修が完了するまでには一定の方向性を示したい。

(委員)

多くの方に利用されていることから、2館体制の方針をなくすことは考えていないのか、また民間活力の利用は売却を考えているのか。

(事務局)

体育館全館を維持していくことが厳しい状況であるため、民間活力の利用について調査・検討しているところである。

(委員)

県内他市町村の同じような課題について把握しているか。

(事務局)

具体的に調査はしていないが、合併市町村が多い市についても本市と同じく旧町村のスポーツ施設はあると思う。

(委員)

民間活力の利用というのは市内業者で考えているのか。

(事務局)

市内に限らず、全国に展開している企業にも意見などを聞いている。

(委員)

学校部活動の地域展開を進めているが、活動場所の確保のために、現在行っている夜間の学校開放について、平日日中の開放ということも考えていくとよいのではないか。

(委員)

太閤山公園相撲場は老朽化しているが、今後も使われていくのか。

(事務局)

必要な維持管理をしていく。今年度も小学生の大会が開催された。

(3) 休日の学校部活動の地域展開の実施状況について

【委員からの意見等】

(委員)

平日の地域展開はどうなるのか。

(事務局)

まずは休日の地域展開を先行して行っている。平日については部活動の在り方検討会でも議論し、検討している段階である。

(委員)

当初この取組みは教師の超過勤務等の労働環境の影響があり始まっていると認識しているが、現状はどうなっているのか。

(事務局)

先生の意志を尊重している。引き続き指導したい方は自らの意志でこれまで通り指導を行っている。

(委員)

学校の現状から言うと、先生方の超過勤務は大きく減少している。

(委員)

部活動の在り方検討会に地域総合型スポーツクラブは参加しているか。

(事務局)

市内5つの地域総合型スポーツクラブを代表して2団体が参加している。

(委員)

現在の部活動の加入率を教えてください。

(事務局)

6～7割程度である。